

企画名：デトックスプロジェクトで疑念の残る私設井戸水の調査とオーガニック関連の店舗とのコラボによるカエルとのトーク動画の拡大

団体名：くまもとのタネと食を守る会

## 1. 報告要旨

### デトックスプロジェクトで疑念の残る私設井戸水の調査

今年度「私設井戸水からはネオニコチノイドが検出される」という仮説をたて、それを地域の公的水道水2つと比較するために、3つの飲料水の採水と検査を行うこととしました。しかし、完全にこの仮説は裏切られました。

結果は、報告書にあるように、私設井戸水からは全くネオニコは検出されていません。(検出限界未満ということ)

地下水を原水とする八代市の水道水から、健康に影響が出るほどではないとはいえ、9月(水田の季節)に気になる量のネオニコが検出されています。これは想定外でした。

氷川ダムからの表流水を水源とする水道水の方が、地下水を水源とする飲料水より検出値が小さいというのも、まったく想像もしていませんでした。ダムの水の方が汚染されていると思い込んでいたからです。

これは、飲料水の水質は、水源と浄化処理の方法、地質などで、全く違った結果になるということをしめしているようです。

### 熊本市の地下水はどうか

地下水についての勉強会を4回実施したのですが、その過程で、地下水を水源とする水道水の場合、水道法で決められている塩素処理をするだけで、沈殿処理などの浄水処理もしていない場合がほとんどということを知りました。もちろんネオニコの除去に有効とされる活性炭処理もされていません。

熊本市の地下水を見ると、その水道の原水井戸数力所から、約7mg/Lの硝酸性窒素が検出されていることを知りました。給水されている水道水は、汚染の高い原水井戸と低い原水井戸を混ぜるので汚染は薄まると行政は言っていますが、それでも給水から4mg/L(八代市の10倍)の硝酸性窒素が検出されています。

水道水での基準値(10mg/L)以下とはいえ、このような高濃度の硝酸性窒素が検出される水道水は全国でもワースト1か2でしょう。この問題をどう考えればいいのかは、今後の課題となります。

今回、飲料水に焦点をあてて調査をしてきましたが、自然が生み出した水は、それなしには生きることができない人間と自然との共存そのものであり、調べれば調べるほど、その奥深さにとまどい、個々の化学物質の汚染の除去などの各論では語り尽くせないものではないかと感じています。

### オーガニック関連の店舗とのコラボによるカエルとのトーク動画の拡大

昨年度作成したカエルとのトークの動画を広く伝えるため、「見る会」を4店舗で実施しました。カエルの動画を見た後、ネオニコの害を具体的な形で示し、それが人間にもどのような影響を及ぼしていかを話し合いました。参加者のみなさんからは「良くないということは分かっていたが、具体的なことを知ることができてよかった」「洗っても落ちないんですね」「特に子どもたちへの影響が大きいことが分かったので気をつけたい」「普段気を付けているけれど実際どれだけの量のネオニコを摂取しているか分からないから検査できるのはありがたい」などの感想をいただいた。

## 2. 成果物

1. 八代生活環境組合にて勉強会の実施(2023.5.8)

2.	勉強会「水問題の基礎知識と熊本の水事情」「農薬の基礎知識」の実施（2023.6.21）
3.	八代市役所水道局にて八代の水道事情に関する勉強会の実施（2023.7.12）
4.	山室真澄氏を講師とした勉強会の実施（2023.7.15）
5.	<a href="#">採水調査の実施</a> 計5回（2023.5.8～2024.1.10）
6.	動画『#カエルでもわかる熊本の水の話』【 <a href="#">前編</a> 】（2024.4.8）、【 <a href="#">後編</a> 】（2024.3.31）
7.	連続企画「 <a href="#">親子で学ぶ！オーガニック♡</a> 」の実施 ママエンジェル・カフェ 参加者：大人8人（2023.8.20） 有機生活屋外テント 参加者：子ども10人、大人4人（2023.9.24） <a href="#">有機生活屋外テント</a> 参加者：子ども7人、大人8人（2023.10.28） どんたけし農園の手作りログハウス 参加者：子ども2人、大人8人（2023.11.11）
8.	「 <a href="#">硝酸態窒素とネオニコチノイド系農薬をしらべる水の検査報告会</a> 」（2024.3.2）
9.	『 <a href="#">硝酸態窒素とネオニコチノイド系農薬を調べる水の検査報告会報告書</a> 』（2024.4.3）